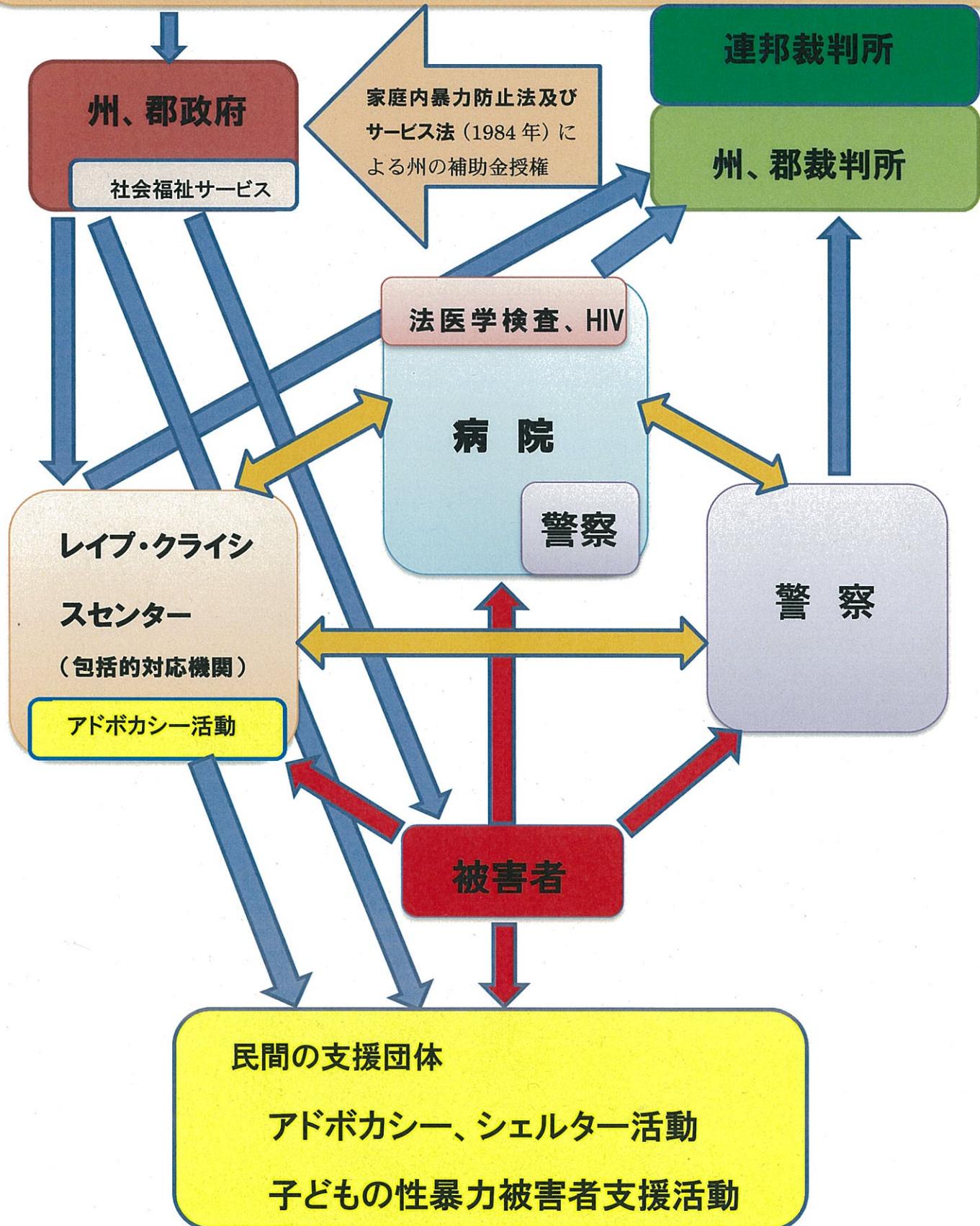


米司法省 女性暴力防止局設置(1995年) 女性に対する暴力防止法(1994年)

女性への暴力および司法省再編法(2005年)は法医学的証拠採取を公的機関の重要な義務とし、各州における法医学検査の無料実施を規定。2013年再授權法は、同性愛者の被害者を支援対象と明確化。また、DNAデータベース化への補助金の授権を規定。



## 2013年度第2回KFAWアジア研究者ネットワーク アメリカにおける性暴力被害者支援のしくみと取組・課題



日時 平成25年10月15日(火)18:30~20:00  
会場 北九州市立男女共同参画センター・ムーブ  
小セミ(5階)  
資料作成 力武由美

### 性暴力被害経験率(2010年、%)

	テキサス	コロラド	マサチューセッツ	ペンシルベニア	合衆国
レイプ被害経験率(女性)	21.7	23.8	15.1	18.8	18.3
レイプ以外の性暴力被害経験率(女性)	46.5	47.4	41.1	45.3	44.6
レイプ以外の性暴力被害経験率(男性)	26.3	26.5	23.3	18.6	22.2
ストーカー被害経験率(女性)	15.6	17.2	*	19.1	16.2
レイプ、身体的暴力、ストーカーのいずれかの被害経験率(女性)	34.5	32.7	31.7	37.7	35.6
レイプ、身体的暴力、ストーカーのいずれかの被害経験率(男性)	35.1	28.6	19.2	27.5	28.5

### アメリカでは

- ・毎年30万人から70万人の成人女性が性暴力の被害にあっている。
- ・女性の6人に1人、男性の33人に1人がこれまでにレイプあるいはレイプ未遂の被害経験を持つ。
- ・2分間に1人が性暴力にあっている。
- ・レイプ被害のうち警察に届出をしているのは35.8%。
- ・被害者の10人に7人が被害に会う前から加害者を知っていた。
- (ピツツバーグ大学メディカルセンターでのプレゼン資料より)

### 性暴力被害者救援の取組

- ・1970年代、シェルター運動が、女性解放運動の中から起こる。
- ・1974年、初めてシェルターが設立され、70年代後半から80年代初頭にかけて、全米中にシェルターが広がった。
- シェルターに駆け込んできたDV被害者の実態が明らかになるにつれて、支援者たちは関心を法システムに向けるようになった。
- ・1979年、保健・福祉省にOffice of Domestic Violenceが設置された。

- ・1980年代、DVを家庭の私事ではなく、社会的にも刑事司法の場でも、明確に「犯罪」として取り上げられる試みがなされた。
- ・1983年、草の根のロビー活動の結果、ほとんどの州にDV防止法が制定された。
- ・1984年、このような動きに対応して連邦議会は、家庭内暴力(家族虐待)防止及びサービス法を制定。
- ・1994年、暴力犯罪規制及び法執行機関法が制定され、この第IV編が女性に対する暴力防止法(Div. IV of P. L. 103-322)で、女性に対する暴力への連邦による包括的対応を目的として制定された。DVの防止、避難所の開設等の被害者の保護・独立のための支援プログラムを各州が実施するための補助金を授権。

- ・女性に対する暴力犯罪への法的対応が弱いという指摘を受け、州などの法執行機関の対応力強化への支援と被害者への支援のための連邦補助金プログラムを多数策定。
- ・他州などで発令された保護命令の執行を州などに義務付け、管轄外で保護命令に違反し、侵害又は嫌がらせを行う場合と、被害者に州境を無理やり越えさせ、暴力によって身体的損害を与える場合を、新たに「連邦犯罪」とした。
- ・連邦性犯罪の加害者に、被害者への補償を義務付け、常習的性犯罪者の刑罰を強化する一方、違法な性行為に関する連邦の民事・刑事裁判では、被害者の過去の性的行為を根拠として採用しないこととした。

- ・1995年、暴力犯罪規制及び法執行機関法の第IV編女性に対する暴力防止法(Div. IV of P. L. 103-322)を所管する「女性暴力防止局」が司法省に設置された。
- ・女性に対する暴力防止法は、移民及び国籍法、人身取引被害者保護法(P. L. 106-386)、DNAデータベース構築や司法手続きに関する各種の連邦法などと相互に関係しながら、再授權及び法改正を重ねた。
- ・デート時の暴力の被害者も対応と支援の対象となった。
- ・この背景には、外国人の妻がDVなどの被害にあった場合に、合衆国市民又は永住者である夫が、妻の永住権取得に影響しているため、助けを求めるにいくこと、人身取引の手段として婚約者呼び寄せビザ(Kビザ)が用いられること等が問題視されたことがある。
- ・また、女性に対する暴力には性的暴行も多く、**加害者の残した証拠からDNAサンプルを作成し、それを迅速にデータベースに登載することにより、常習的犯罪者を効果的に把握することが求められた。**

・女性に対する暴力防止法の制定により、司法中心の3大DV対策である①警察・検察・裁判所の対応改善、②シェルターへの支援強化、③被害者の権利の強化がとられるようになった。

・1999年、米国疫病予防センター(Centers for Disease Control and Prevention: CDC)、ジョージア州アトランタにあるアメリカ合衆国保健福祉省所管の感染症対策の総合研究所)が、一貫性のある用語を使うよう推奨し、多様な関係のバリエーションを含むものとして、IPV(Intimate Partner Violence: 親密なパートナーの暴力)を採用することとした。

これは単に呼び名を変更したことにしてしまらず、DVについての理解が大きく変化したことを意味する。日本でDVとして概念化されたものが、アメリカでは、急激に、IPV(Intimate Partner Violence: 親密なパートナーの暴力)という言葉で統一されつつある。

## 1 性暴力被害者支援のしくみ

\* 別紙配布資料参照

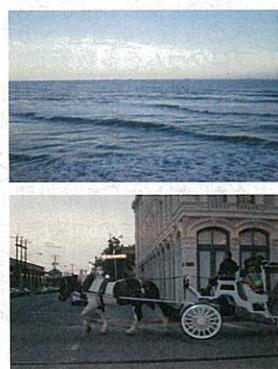
## 2 性暴力被害者支援のための訪問先及び関連機関の取組

ガルベストン、ヒューストン、テキサス州  
8月25日—29日



### メキシコ湾に浮かぶガルベストン島

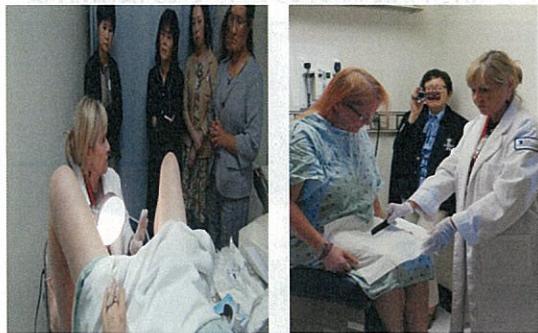
世界周航客船が停泊中



### テキサス大学医学部ガルベストン校看護学部



### 法看護師による法医学検査



### テキサス大学医学部ガルベストン校 附属病院救急治療部



### 警察、社会福祉士の院内常駐



### 救急治療室



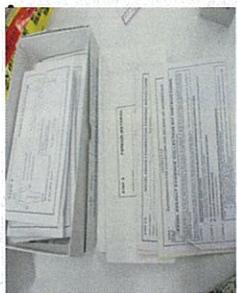
### 性暴力被害の法医学検査室 家族にもわかりにくい場所、常時施錠



### 法医学検査室 被験者(子ども)が安心できる さまざまな工夫



### 科学捜査研究所が標準化した 証拠採取キット



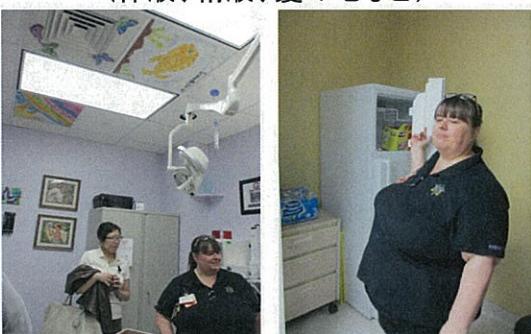
- ・ものさし
- ・袋
- ・めん棒
- ・櫛
- ・封をするテープ
- ・記録用文書

### 記録文書

できるだけ被害者の声をそのまま記録



### 証拠の冷凍保存と裁判時の証拠提供 (体液、精液、髪の毛など)



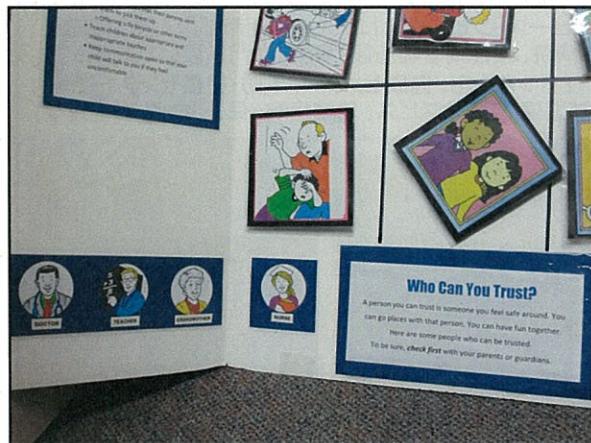
### バス・トイレの設備

シャンプー・下着・衣服・靴などのストック



### 子どもの性暴力被害者への教育教材 「どのふるまいはよくないか？」





**性暴力被害者のアドボカシー活動**

**Resource & Crisis Center of Galveston County, Inc.**  
*Opening Doors - Breaking the Cycle*  
AVAILABLE 24 HOURS | TOLL FREE (888) 919-7233 | LOCAL (409) 765-7233

\* 国、自治体からの助成金、個人、団体からの寄付金で運営するNPO

**<支援サービス>**

- ・24時間ホットライン
- ・シェルター提供
- ・自助グループ活動
- ・情報提供(知識が重要)
- ・相談(暴力から逃れない選択など)

**・アドボカシー(人権擁護活動)**

- ・警察、病院(救急治療室、法医学検査室)、裁判所、郡・州政府の社会福祉課などへの付き添い支援

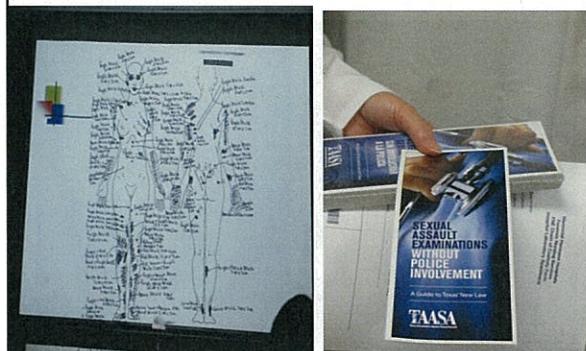
**性暴力被害のサバイバー**  
自分の経験を伝える活動：“Use Your Voice”



微小な証拠も見逃さないドイツ製検視鏡



警察は法の執行のための事実検証  
法看護師はトラウマのケアと人権擁護



性暴力被害  
への移動対応

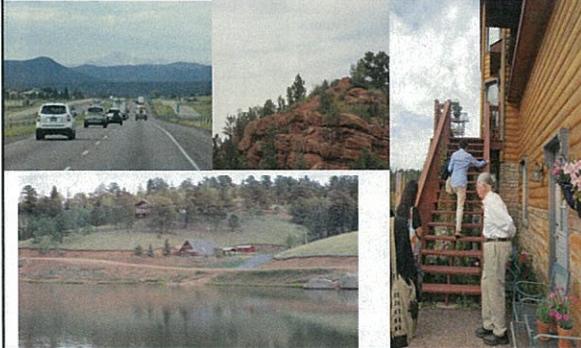
車の後部には  
証拠採取キットなど



医療の目標は、性暴力被害者の意思を  
尊重した健康と福祉と安全の提供



コロラド・スプリングス、コロラド州  
8月29—31日



Dr. Virginia Ann Lynch,  
"Founder of Forensic Nursing" (1992)

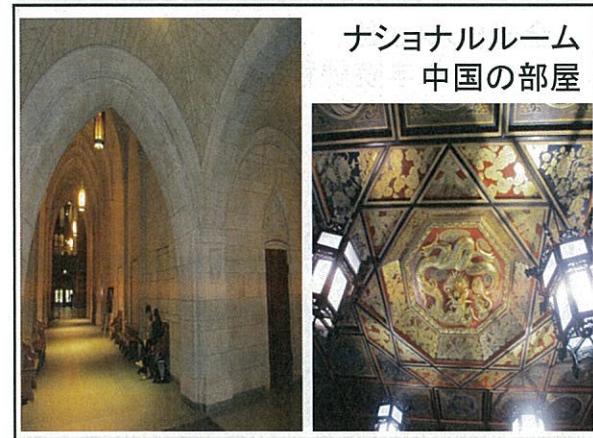
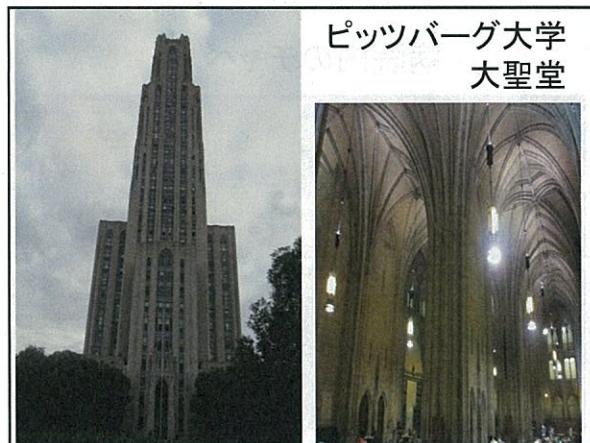




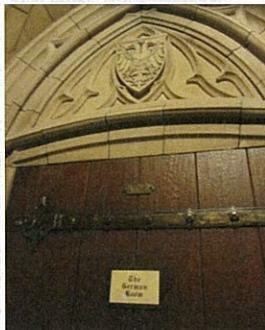
**Dr. Virginia Ann Lynch <パーソナル・ヒストリー>**  
1944年生まれ(現在、69歳)  
1982年 テキサス・キリスト教大学看護学部卒業(38歳)  
テキサスの科学捜査研究所に通い始め、法看護  
学創設の構想を得る  
1984-5年 めざましい業績を成したテキサス女性に選出  
1986年 テキサス大学アーリントン校大学院課程の実験的  
法看護学コースの第1期生となる  
1990年 同大学大学院で看護科学修士号を取得  
ニューヨーク市第一医療検査局で殺人事件の遺体  
検死のインターンとなる  
1992年 国際法看護学会を72人の看護師と設立  
(現在、会員は11カ国3000人以上)

1994年 ジョージア州の検死官の資格を取る(夫も検死官)  
1995年 アメリカ看護協会が法看護学を看護の専門分野として承認  
1996年 コロラド大学とBeth EL看護大学で法看護科学と犯罪健康科学のプログラムコーディネーターを務める  
2000年 テキサス・キリスト教大学から特別の功績を讃えた  
同窓生に選ばれる  
クリントン大統領およびホワイトハウス医療班、  
英国・ウェールズのロイヤル看護大学、  
スコットランドヤードの法医学部、他諸外国に招待され、法看護科学教育のモデルを示す  
現在も、世界各地に招かれ、法看護科学の普及に努める

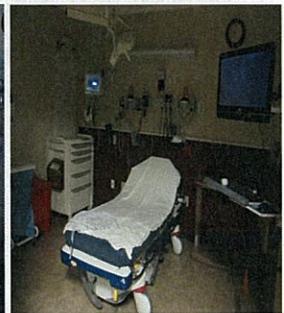
ボストン 9月2日—4日 犯罪科学、法看護  
学の権威 ボストンカレッジのDr. Ann Burgess



ドイツの部屋



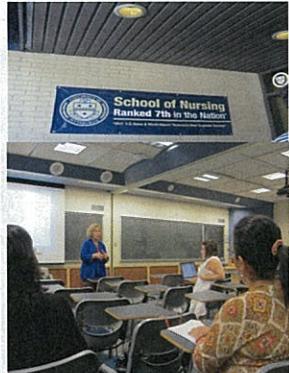
ピッツバーグ大学メディカルセンター  
シェイディサイド病院救急治療室



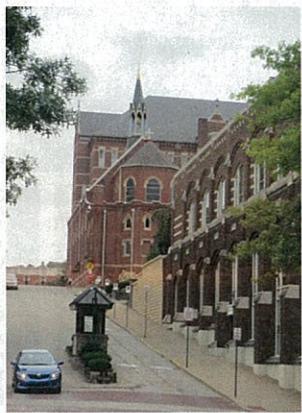
病院内のチャペル



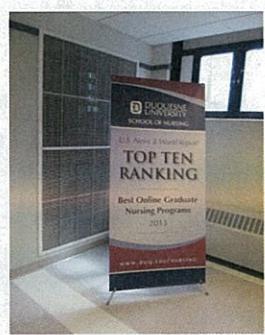
全米トップ7位の看護学部 授業参加



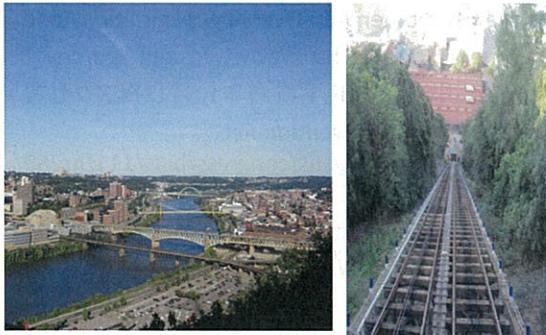
デュケン大学



全米トップ10位、オンライン看護教育  
大学院課程プログラム



### かつてインディアンが上り下りしていた山道にかかるケーブルカー



### III 性暴力被害者支援の今後の課題

#### 1 NPO アドボカシー活動の立場から

「知識は力なり。増加する子どもの性被害に対して、暴力行為とそうでない行為を見極める力を子どもが持てるような教育が必要」

(Ms. Shannon Samuelson, child advocacy worker)

#### 2 法看護師の立場から

「ロシア系、東欧系の移民が増え、また非異性愛者が性暴力被害の支援を受けにくい現状にあることに対して、性暴力の被害者は女性という固定的な概念を広げていく必要がある」

(Ms. Amanda Henderson, forensic nurse)

### III 性暴力被害者支援の今後の課題

#### 3 専門教育の立場から

「法看護学は1995年に看護科学の専門分野として承認されて以降、教育、経験とともに急速に発展してきた。が、雇用側は、臨床の場での法看護のニーズに日々直面し、専門的な訓練を受けた人材が必要であることを認識しながらも、当直の登録看護師ですませようと、法看護師の採用枠を増やしてこなかった。組織や団体はもっと積極的に法看護師のポジションをつくることで法看護師の社会的ニーズと賃金と地位を正当化し、後に続くもののために先例をつくるべきである。」

(Dr. V. A. Lynch, founder of forensic nursing)

### パッショントミッション

### 性暴力被害者支援の専門家たち



### 男性法看護師 Mr. Skip Harl (67歳)



- <パーソナルヒストリー>
- ・2回、ベトナム戦争を体験
- ・48歳でアメリカ空軍を退役
- ・これから私に何ができるか?
- ・テキサス大学看護学部入学
- ・52歳で看護師に
- ・メモリリアルハーマン病院で性犯罪被害者のケアを提供するトラウマ・インスティチュートの医療コーディナーを務め、現在は週2回の勤務

### 法看護学の母





## 出典

Congressional Research Service. The Violence against Women Act: Overview, Legislation, and Federal Funding <http://www.fas.org/sgp/crs/misc/R42499.pdf> 平成25年10月12日アクセス

Dating Violence Prevention Act  
<http://www.govtrack.us/congress/bills/111/hr789/text>

The National Intimate Partner and Sexual Violence Survey(NISVS) <http://www.usa.gov> 平成25年10月12日アクセス

Centers for Disease Control and Prevention 疾病管理予防センター <http://www.cdc.gov/>  
Trauma: A History of Saving Lives. Memorial Hermann Texas Trauma Institute, Memorial Hermann Medical Center  
Sustainability 101: Fostering Collaboration between SANE Program Coordinators and Medical Directors. The National Sexual Violence Resource Center <http://www.nsvrc.org/>  
Family Violence Prevention and Services Act: FVPSA (P.L.98-457)  
[http://www.acf.hhs.gov/sites/default/files/fysb/fvpsa\\_summary.pdf](http://www.acf.hhs.gov/sites/default/files/fysb/fvpsa_summary.pdf)